



第50回 町別野球 記念大会

応援舌戦も なごやかに

昭和三年に第一回が始まった町別野球大会も、今年で五十回を数え、半世紀の間続いてきました。このように続いてきましたのも桂クラブ、都留野球連盟など野球関係者の熱意のたまものと思います。

ごぞんじのように、昭和六十一
年「かいじ国体」軟式野球少年男子の会場と決まっている当市では改修し「市営住吉球場」として生れかわりました。

この本格的球場でのはじめて行われた町別野球は三十チームが参加し、伝統の優勝旗を目指し八月十四日(土)、二十九日(日)、九月一日(水)、二日(木)、五

日(日)の五日間にわたって熱戦が繰り広げられました。

十四日八時三十分より始まった開会式に集合した選手は、都留ガールスカウトの先導によって都留第一中学校吹奏楽部の軽やかな演奏にのって行進しました。

「私達は、スポーツマンシップを發揮します」と緑町チームの渡辺征夫選手の宣誓のとおり各町の代表選手は、熱の入った一投一打も常にフェアプレーのなかで行われました。

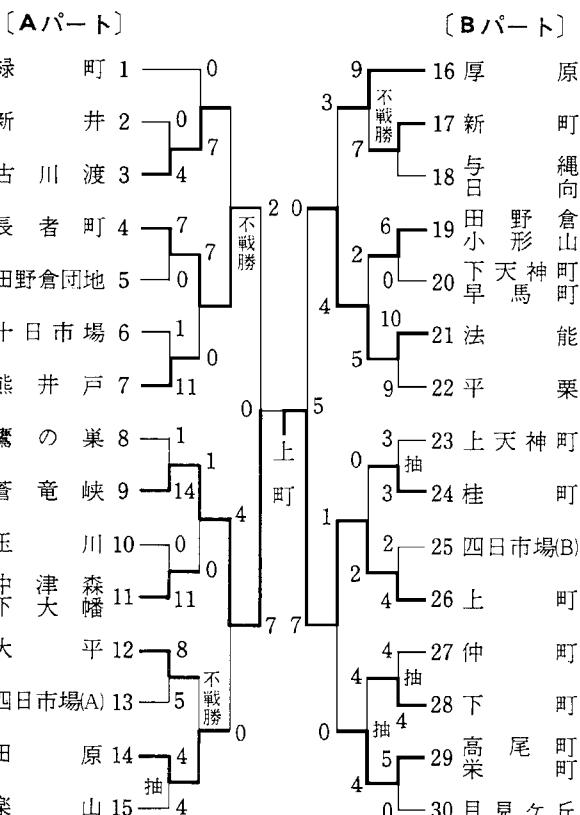
最優秀選手賞
打撃賞
観戦賞
敢闘賞
個人賞
(敬称略)

小保光也(上町)
石川和弘(上町)
関戸吉郎(蒼竜峡)
加藤正広(蒼竜峡)



▲優勝旗を手に喜びの上町チーム

町別野球大会組合せ表



◀決勝戦二回裏上町チーム先制点

